

With you

特集

薬剤部のおシゴト
・
P.02



Contents

- P.05 | 精神疾患・身体合併症センター開設について
- P.06 | 転ばぬ先の杖外来開設について
- P.07 | 新任部長のごあいさつ
- P.08 | ウォーキングマップ・イベントガイド





薬剤部のおシゴト



TOP

はじめに

「くすりは両刃の剣」とよくいわれます。病気の診断、治療や予防の目的で使われるものですが、思わぬ副作用による健康被害を引き起こしたりすることがあります。

医師の診断に基づいて患者さん個々にお薬が処方され、薬剤師はその内容を監査し、調剤を行います。薬剤師は、患者さんが安心して薬物治療が受けられるように、医療チームの一員としてお薬の適正使用をサポートし、安全で安心な医療を提供するために邁進しています。



調剤業務

外来・院内調剤

当院では、外来患者さんのお薬を院内の薬剤部で調剤してお渡しする、院内調剤を行っています。

診察室で医師が処方した内容が電子データで直ちに薬剤部に届き、薬剤師が処方内容を確認して、調剤を開始します。

患者さんは会計を済ませられた後、お薬を院内で受け取れます。院外の薬局に移動することなく、診察された同じ建物内でお薬を受け取ることができ、会計も一度で済ませることができ、また、院内調剤の方が薬剤師

さらに医師の処方内容は、電子カルテですぐに確認でき、医師と薬剤師の距離も近く、問い合わせ業務などもスムーズに行うことができます。

のチェック機能が十分に果たされますので、患者さんにとって安全性・利便性が高いと考えております。



入院調剤

外来患者さんの院内処方の場合、入院患者さんのお薬の調剤を行っています。

当院では、外来院内処方だけでなく入院処方の全てに、お薬の写真・効能・副作用などを記載したお薬の説明書を添付しています。電子カルテと連動した処方監査

システムを構築し、コンピュータシステムを活用することで、調剤業務の効率化・安全性を高めた調剤を行っています。

休薬が必要なお薬、投与期間が定められたお薬が適切な投与スケジュールで処方されているか、また、処方箋に検査値を印字することで、患者さんの状態に応じたお薬の量になっているかなどを、すぐに確認できるように、適正で安全な薬物療法をサポートしています。

注射薬調剤

入院患者さんや外来患者さんの注射薬の調剤を行っています。

注射薬自動払出装置（ピッキングマシン）を導入し、処方内容のチェックを行い、正確な注射薬を用意する仕組みになっており、お薬の取り間違いを防いでいます。

医薬品情報管理業務

薬品情報科では、お薬に関する様々な情報を収集・管理し、院内スタッフに提供しています。また、医師・看護師をはじめとした院内スタッフからのお薬に関する質問にも対応しています。

最新の情報も積極的に収集し、薬物治療が有効かつ安全に行われ、患者さんが安心してお薬を服用できるよう努めています。



注射薬の混合調製業務

抗悪性腫瘍薬は、投与方法・投与量をコンピュータや薬剤師の目でチェックした上で、安全キャビネットという抗悪性腫瘍薬専用の作業台を使用し、安全で清潔な環境で、薬剤師が調製しています。

高カロリー栄養輸液についても、クリーンベンチという埃や雑菌の混入を防ぐ清潔な作業台を使用し、薬剤師が無菌調製を実施しています。

製剤業務

院内製剤

市販されているお薬では、医療上対応が困難な場合、また市販されていないお薬は、必要な手続きを行った上で薬剤師が特別に調剤しています。



治験薬管理業務

治験管理センターでは、新しいお薬を開発するために必要な「治験」を行っています。薬剤部では、主に治験薬の管理・調剤を行っています。

薬剤管理指導・病棟薬剤業務

病院内では、医師、看護師などと共に働くチーム医療の中で、薬剤師は、医療スタッフがお薬を適正に使用できるよう情報を提供する一方で、ひとりひとりの患者さんの大切な情報を共有することにより、患者さんをサポートし、より良い医療を提供することを心がけています。また、あらゆる場面で、お薬の副作用を含め、リスクの防止にも努めています。

例えば、患者さんが入院して来られたときに持参薬を確認することもそのひとつです。入院中は注射薬も含め、退院後もお薬を正しく安全に使用していただけるように必要な説明をしています。

病棟での薬剤師の仕事

入院患者さん個々に薬剤師が担当する担当薬剤師制をとっています。入院から退院されるまで医療チームの一員として患者さんを

サポートします。

薬剤師が単なるお薬の説明に留まらず、入院までの薬物療法（薬歴）や病歴を確認した上で、日々の患者さんの思いや病状の変化も踏まえて、薬学的観点からの情報を患者さんも含めた医療チーム内で共有することで最適な医療が提供できるよう努力しています。



チーム医療

感染制御チーム

(ICT Infection Control Team)

感染制御部では、1名の専任薬剤師と他1名の薬剤師の2名体制で感染管理に関わっています。

ICT委員会への出席や、環境を確認するために院内ラウンドの実施、ICTコア会議に出席し、院内の抗菌薬の適正使用に努めるとともに、患者さんを院内感染から守っています。



栄養サポートチーム

(NST Nutrition Support Team)

NSTは、専門的な知識を有する医師・看護師・栄養士・薬剤師等、多職種で構成しています。

患者さんの栄養状態を評価し、患者さんに合った栄養療法を提供することで、栄養状態の改善を図り、適切な栄養療法の実施に努めています。

当院は日本静脈経腸栄養学会認定の教育認定施設であり、研修生の受入れも行っていきます。

褥瘡対策チーム

すでに褥瘡ができていたり、できかけている入院患者さんを対象に回診を週1回行っていきます。

薬剤師は主に、処置を行う際に出血のリスクのあるお薬の使用の有無や検査値等を事前に確認し回診に参加しています。

緩和ケアチーム

患者さんの身体的・精神的苦痛を「緩和すること」は医療上重要なことです。「多職種が協働す

緩和ケアチーム

(NST Nutrition Support Team)

緩和ケアチームに医師・看護師・MSW (Medical Social Worker) 等とともに薬剤師も参加しています。薬学的観点から患者情報を共有して医療チームの一員として患者さんを支えています。

糖尿病教室

当院では1週間のプログラムで、医師・看護師・管理栄養士・健康運動指導士・薬剤師が、各々専門分野を担当し、糖尿病教室を開催しています。

薬剤師はお薬の説明の他、薬物治療を行う上での注意事項についても説明しています。また、参加された方からのご質問にもお答えしています。



薬学生実務実習

薬科大学(薬学部)からの薬学生を受け入れています。

6年制の薬学教育制度での薬学生を対象とした大学教育の1環として、病院での実務を体験するものです。

医療の実務実習で指導に当たることのできる薬剤師を認定する制度(日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師制度)があり、薬学生はこの認定を持った実務実習指導薬剤師のもとで医療を経験いたします。



専門・認定薬剤師資格(2018年7月現在)

当院では以下の専門薬剤師・認定薬剤師等が在籍しています。

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| ・日本医療薬学会指導薬剤師: 2名 | ・日本糖尿病療養指導士認定機構日本糖尿病療養指導士: 5名 |
| ・日本医療薬学認定薬剤師: 2名 | ・日本静脈経腸栄養学会栄養サポート(NST)専門療法士: 1名 |
| ・日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師: 2名 | ・日本腎臓病薬物療法学会認定薬剤師: 1名 |
| ・日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師: 1名 | ・日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師: 10名 |

精神疾患・身体合併症センターについて

地域の精神科病院と連携した運営

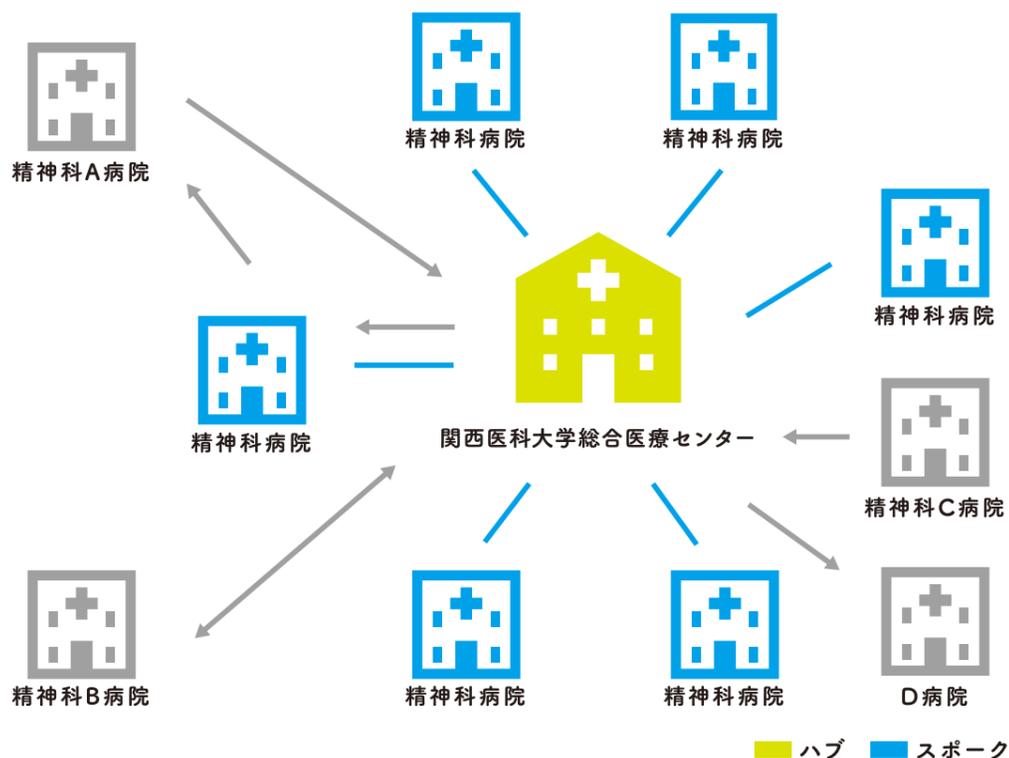
当センターは、2018年5月に精神疾患・身体合併症の患者さんに適切な医療を提供することを目的として設立されました。救急医学科・精神神経科が核となり、地域の精神科病院と連携して運営してまいります。

当院は、従来より救急医学科と精神科が連携し精神疾患診療に取り組んできた歴史があります。2013年に当院を中心に北河内の複数の精神科病院と手を結び、精神疾患・身体疾患合併症患者さんの診療にあたるハブ&スポークモデルという診療連携モデルを導入しました。このモデルは、当院救急医が各精神科病院を回診する取組みをす

ることで、顔と顔の見える関係を築き、お互い「助け合う」システムです。2017年には年間

で計234例の精神疾患・身体合併症の患者さんを当院で受け入れました。当センターは、ハブ&スポークモデルを生かした精神疾患・身体合併症診療を行う、日本初の取り組みを行っています。当センター内には救急医、精神科医、精神保健福祉士が常駐し、診療後の支援、ソーシャルワークを提供してまいります。北河内医療圏だけでなく、他の医療圏の精神・身体合併症の患者さんも積極的に受け入れていける体制を目指します。

ハブ&スポークモデル



スタッフ

センター長 精神神経科教授 木下利彦

副センター長 救急医学科助教 和田大樹、精神神経科助教 松田達也

リエゾン精神看護専門看護師 吉井ひろ子

P S W 山田妃沙子、住田緒理衣、日高浩行

◆◆◆◆◆

「転ばぬ先の杖外来」を開設しました！

(パーキンソン病早期発見外来)

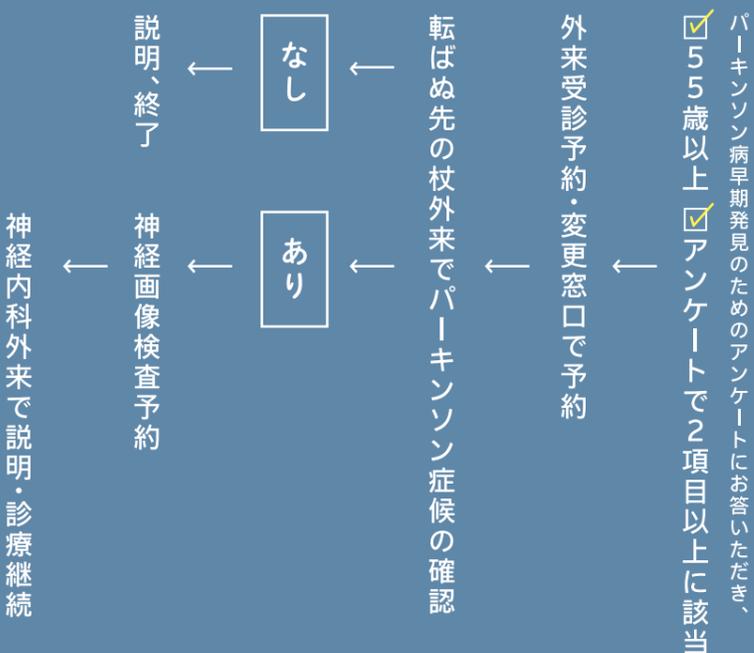
あなたは、パーキンソン病
をご存じですか？

パーキンソン病の症状は、『手のふるえ』や『歩く速度の遅さ』などが多く、それらは老化によるものだと思いがちで、病院を受診しないまま症状が進行してしまいう患者さんがとても多いです。パーキンソン病は早期発見・早期治療が大切です。

関西医科大学総合医療センターでは、病気が悪化する前
に転ばぬ先の杖として活用
いただけるよう、当外来を開
設しました。気になる方は、
お気軽に受診してみてください
。(紹介状は不要です)

関西医科大学総合医療センター神経内科

転ばぬ先の杖外来受診の流れ



転ばぬ先の杖外来はパーキンソン関連疾患を見つけることに特化した外来です。紹介状は不要ですが、アンケート結果はお持ちください。55歳以上でアンケートの該当項目が2つ以上ある方が対象です。また、全ての神経内科疾患への対応はしていませんのでご了承下さい。

アンケート内容紹介

(一部抜粋)

- 匂いがわからなくなっていますか？
- 手や足がふるえますか？
- 止まろうとしても止まらなかったことがありますか？
- 歩いている時に腰曲がりがあり、横になると腰が伸びますか？

診察日 毎週金曜日 診察時間 10:00～
 予約方法 外来受診予約・変更窓口
 TEL 0570-022-455にて受付

★アンケートはホームページおよび神経内科外来に設置しています。

心臓外科

新任部長のごあいさつ

平成30年5月1日より関西医科大学総合医療センター心臓外科に赴任いたしました安元浩と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

前任地は沖縄県立中部病院で、同病院は国内屈指の臨床研修病院であり、優秀な研修医たちに力をもらいながら心臓血管外科副部長として2005年から仕事をしました。これまで特に重症心不全、心機能低下症例や感染性心内膜炎の手術を数多く経験してきました。社会の高齢化に伴い循環器疾患はますます増加しており、診療においては心臓外科のみならず循環器内科の先生方やコメディカルの皆さんとハートチームとしての一歩となった活動がますます重要になってくるものと考えます。さらには他科との連携、病診連携の充実を図り、地域の皆さんお役に立てる心臓外科診療を目指していきたいと考えています。少ない人数でのスタートとなりますが医療の質の向上を心がけ手術成績向上を目指していく所存です。

どうぞお気軽にご連絡ください。よろしく申し上げます。



心臓外科部長
安元 浩
Hiroshi Yasumoto

Vol.1 ばんざい～背中・うでのストレッチ～

健康維持・転倒予防を目的に、当院リハビリテーション科医師・理学療法士が作成しています。病室や待ち時間、ご自宅で簡単に行えますので、ぜひ行ってみましょう。

1

椅子やベッドに座って行います。足裏を床にしっかりとつけるようにしましょう。

2

両手を伸ばしたまま、ゆっくりと上に上げましょう。4秒かけて上げ、4秒かけて下ろします。5回を目標に行いましょう。

- 天井を触るように行うことがポイント！
- 背筋を伸ばして行いましょう！

【イベントガイド】

第21回関西医科大学総合医療センター市民健康講座

日時 平成30年10月6日(土) 14:00～16:00
 場所 守口文化センター エナジーホール
 講演 こんな症状困ってませんか？
 ～手のふるえ、頻尿、背中痛み～

事前申し込み不要。当日直接会場にお越しください。



TAKE! ABI2018 inKANSAI

若い!? 若くない!? あなたの血管年齢は何歳?!
 ～手足の血圧でわかる脳梗塞や心筋梗塞の危険性～

日時 平成30年10月21日(日) 10:00～16:00
 場所 血管年齢測定:本館正面玄関
 講演:南館2階臨床講堂(12:00～13:00)
 講演 アンチエイジングは脚の健康から
 ～動脈硬化を予防して、キレイに健康に～

申込方法 院内ラック設置もしくはホームページ掲載の申込用紙に記入の上、FAX:06-6992-4846まで。(受付期間:9月1日～10月10日) 先着定員300名。

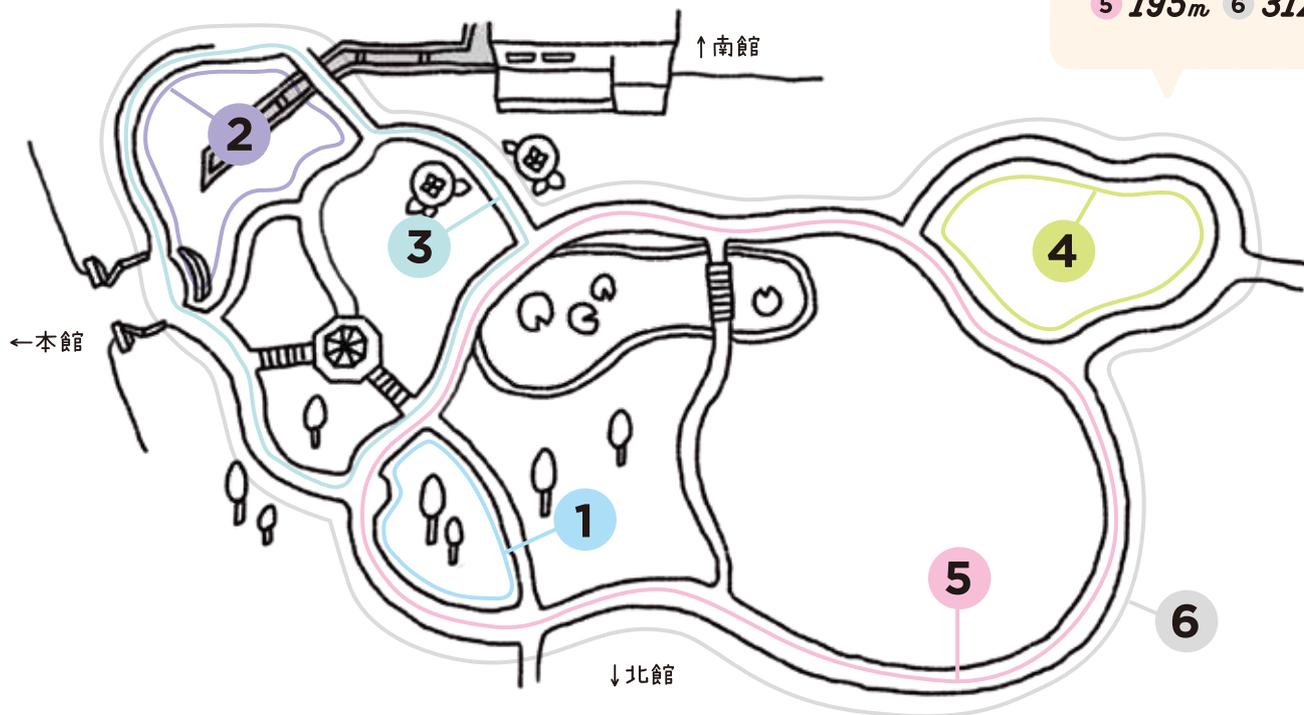
Hospital Garden Walking Map

お散歩は、いかがですか？

① 58m ② 80m

③ 128m ④ 85m

⑤ 195m ⑥ 312m



ナンプレとは数字を配置するという意味の「ナンバープレース」です。9×9の四角形のマス目(合計81マス)にヒントを手がかりにして、1～9の数字をルールに従って書き込んでいくパズルです。

- ① タテのどの列にも1～9の数字が1つつはいるようにしてください。
- ② ヨコのどの列にも1～9の数字が1つつはいるようにしてください。
- ③ 太い線で囲まれたエリア(タテ×3ヨコ3の四角形)にも1～9の数字がはいるようにしてください。

※解答は当院ホームページに掲載しています。
 ※Copyright(C)2015 TORU TAKEUCHI

	6					1	2	
1		3	2	7	8	6	4	9
					5			
				5			1	
9				8	2			4
	7			3				
			4				7	
5	2				1			3
							9	2